

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●キョウエイギアの競走馬登録抹消

2016年ジャパンダートダービー(大井・Jpn I)の勝ち馬キョウエイギア(牡6歳/栗東・矢作芳人厩舎)は、2月7日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績11戦3勝・地方2戦1勝で、今後は青森県階上町のワールドファームで種牡馬となる予定です。

●2019年度の新規騎手免許試験合格者発表

2019年(平成31年)度の新規騎手免許試験合格者が発表されました。JRA競馬学校騎手課程を卒業する岩田望来(栗東・藤原英昭厩舎)、大塚海渡(美浦・木村哲也厩舎)、亀田温心(栗東・北出成人厩舎)、小林凌大(美浦・小西一男厩舎)、齋藤新(栗東・安田隆行厩舎)、菅原明良(美浦・高木登厩舎)、團野大成(栗東・齊藤崇史厩舎)と、これまで豪州や韓国など海外を拠点として騎乗してきた藤井勘一郎(栗東・フリー)の計8名で、3月以降にJRAの騎手としてデビューする予定です。

●日本馬8頭が2019ドバイワールドCデーの招待受諾

3月30日(土)、アラブ首長国連邦ドバイのメイダン競馬場で実施されるドバイワールドCデー各レースに日本馬が選出され、関係者が招待を受諾しました。ドバイワールドCにケイティブレイブ、ドバイシーマクラシックにシュヴァルグラン、スワーヴリチャード、レイデオロ、ドバイターフにアーモンドアイ、ヴィブロス、ディアドラ、ドバイゴールデンシャヒーンにマテラスカイが出走する予定です(2月14日現在)。

●アメリカ三冠競走に日本馬4頭が登録

今年のアメリカ三冠競走に、ゼルク(牡3歳/栗東・松永幹夫厩舎)、デルマルーヴル(牡3歳/美浦・戸田博文厩舎)、マスターフェンサー(牡3歳/栗東・角田晃一厩舎)、ロマンティコ(牡3歳/美浦・藤沢和雄厩舎)の4頭が登録しました。本年のアメリカ三冠は、5月4日(土)にケンタッキーダービー、5月18日(土)にプリークネスS、6月8日(土)にベルモントSという日程で実施される予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヒラボクラターシュが佐賀記念(佐賀)で重賞初制覇

佐賀記念(Jpn III、2月11日、佐賀、2000万円)は、3番手から4コーナー手前で先頭に立った3番人気のヒラボクラターシュ(山本聡哉騎手=岩手、牡4歳、父キンシャサノキセキ)が、内で食い下がるリーゼントロックをクビ差退けました。逃げた単勝1.4倍で圧倒的人気のテオーエナジーは更に8馬身遅れの3着、2番人気のグレイトパール(佐賀)は4着、アスカノロマンは5着、メイショウスマイトモは8着に敗れています。

●中山記念とオーシャンSに地方在籍馬が登録

中山記念(G II、2月24日、中山、大阪杯の出走資格獲得は2着以内)に、ハッピーグリーン(北海道)が登録。また、夕刊フジ賞オーシャンS(G III、3月2日、中山、高松宮記念の出走資格獲得は2着以内)には、スタークニナガ(北海道)、ナリタスターワン(船橋)の登録があります。中では、ハッピーグリーンに上位進出の可能性がありそうです。

●ヒカリオーン(川崎)が雲取賞を逃げ切る【各地の主要3歳重賞】

新設重賞の雲取賞(2月7日、大井、1800万円)は、先手を取った4番人気の平和賞馬ヒカリオーン(牡、父フリオーソ)が、単勝1.7倍で断然人気のミュウチャーリーに2馬身差を付けて逃げ切りました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2019年の欧州競馬～イタリアからG1レースが消滅

2月6日にヨーロッパ・パターン競走委員会から今年の欧州におけるグループレース及びリステッドレースの変更点が発表され、イタリアのリディアテシオ賞がG1からG2に格下げとなりました。これによりイタリアからはG1レースが消滅することになります。一方、G2からG1に昇格となったのは10月のG1凱旋門賞の前日に行われるフランスのロワイヤリユール賞(3歳上牝、パリロンシャン競馬場)だけで、芝2500mから芝2800mへと距離を延長させての昇格となりました。

●馬インフルエンザ発生でイギリスの競馬が中止

イギリスの競馬を統括するBHAは2月6日、イギリス国内で3頭の現役競走馬が馬インフルエンザの陽性反応を示したことを受けて、感染のこれ以上の広がりを阻止するため、翌7日の開催中止を急ぎ決定しました。イギリスの競馬はその後12日まで開催中止となっていました。13日からは厳しいバイオセキュリティの下ではありますが競馬が行われています(現地時間2月14日現在)。